

東京大学大学院人文社会系研究科 社会心理学研究室  
2019年度 修士学位論文

片山 拓海

『個人の社会的価値志向性と商品特性に関する社会的評価が購買行動に及ぼす影響』

小泉 喜之介

『集団の創造性を導く討議プロセスの検討』

ターン 有加里 ジェシカ

『Individual differences in prosocial and proself behavior in the volunteer's dilemma  
(ボランティアのジレンマにおける利他的行動および利己的行動の個人差)』

内藤 碧

『社会ネットワーク構造はいかに集合知に寄与するか —時間的変動環境における検討— 』

福本 都

『親密な個人間の争い後の加害者の関係破壊的な反応に影響する要因：  
被害者の不満の伝え方と加害者のセルフアファメーション』

正本 拓

『ヒト摂食行動の社会的促進における共食者の脅威レベルの影響の検討』